

令和6年度 対話型鑑賞教育 ファシリテーター養成講座カリキュラム(6日版)

(公財)船橋市公園協会 生涯学習センター
船橋市民ギャラリー

1 ファシリテーターの養成講座日程及び内容

| | 月日 時間 | 内容 | 講師 | 会場、備考 |
|----------|------------------------------|---|---------------------------------|---|
| 第1日【5時間】 | 10月15日(火) 10時～12時 (講演) | ●対話型鑑賞教育の意義と授業参加の留意点(2時間) ・第2次船橋市文化振興基本方針について ・重点プログラム「アートでつながるまち ふなばし」における対話型鑑賞教育の意義 ・学習指導要領における図画工作、美術科の目標及び内容と鑑賞教育の現状と課題について ・特別な配慮を要する児童への対応について | (文化課) (指導課) (総セ) | 市民ギャラリー 第4展示室 |
| | 13時～16時 | ②基礎講座:ふなばしアートカードと所蔵作品(90分) ・ふなばしアートカード解説 ・船橋市所蔵作品と船橋市の美術振興活動について ・「船橋市所蔵作品展(12月)」について ②基礎講座:対話型鑑賞教育の理論と方法(90分) ・アイスブレイク/参加者自己紹介(20分) ・講義「対話型鑑賞教育の意義と内容について」(30分) ・体験「アートカード体験講座」 ・授業の内容を実際に体験してみる(1)(40分) ・気づいたこと考えたことを共有する、質疑応答 | (文化課学芸員) 【アドバイザー】 () | |
| 第2日【6時間】 | 11月12日(火) 9時～12時 (実践) | ③基礎講座:VTS体験講座(3時間) ・所蔵作品展の内容紹介/所蔵作品展の目的について ・所蔵作品展の出品作品でVTSを体験する(VTS～Visual Thinking Strategy) ・見学会の内容について伝える ・アートカードの授業から展覧会(見学会)への接続を考えたファシリテーションについて ※方法論～アートカードと対話型鑑賞について ・アートカード体験_実際の授業を体験してみる(2)(60分) アートカードの授業の意図と目的 | 【アドバイザー】 () | 市民ギャラリー 5階 第123和室 ※アートカードを一人1セット |
| | 13時～16時 (実践) | ④基礎講座:アートカードファシリテーター実践講座(3時間) ・ <u>学習指導要領における対話型鑑賞教育の導入・評価</u> ・指導案、評価、授業の説明 ・指導案に基づきファシリテーター体験をしてみる(50分) ・小学校の実践を想定した準備をする ファシリテーターの心得を考え共有する(グループワーク) | 【アドバイザー】 () | |



| | | | | |
|--|--|--|---------------------------------|-----------------------|
| 第3・4日【5時間×2】 | 11月25日(月) 船橋小 11月26日(火) 湊町小 11月27日(水) 海神小 (教室実習) 9時 ～12時30分 13時30分 ～15時30分 | ⑤⑥⑦⑧実践講座:アートカードの授業の体験 所蔵作品展見学会(文化課)事前授業で、教室実習実施 (午前) ・ファシリテーター、サブファシリテーター活動実践研修(3時間30分) ※メインとサブの両方を体験する。サブはOJT研修の位置付け。対話記録を作成する。 ※全体を見るコーディネーターはアドバイザーが担当 ※授業の進行もアドバイザーが担当 (午後)実践講座「授業の振り返り」(1時間30分) ・活動体験後の話し合い/フォローを行う ・ファシリテーターの活動について細かい調整を行う *活動報告書、対話記録の執筆(在宅勤務) | 【アドバイザー】 () (文化課学芸員) | 3校のうち2校に参加 各学校 |
| 第5日【6時間】 | 12月13日(金) 9時～12時 | ⑨対話型鑑賞教室の振り返り(3時間) ・学校での授業を終えての話し合い(動画視聴) ・アートカードによる授業のみの学校のプログラムの確認 ・翌年度の事業の紹介(授業後展覧会見学なし) | 【アドバイザー】 () | 市民ギャラリー 第4展示室 |
| | 13時～16時 (実践) | ⑩船橋の美術史について「船橋市所蔵作品展見学」(3時間) ・学芸員によるギャラリートーク(VTS体験) ※所蔵作品展でのギャラリートークに参加 ・船橋市所蔵作品/船橋アートカードの実物紹介 ・1,2期生と3期生の顔合わせ | 【アドバイザー】 (文化課学芸員) | |
| 第6日【2.5時間】 | 2月25日(火) 14時00分 ～16時30分 | ⑪美術鑑賞フォーラムに参加(2時間30分) 「対話型鑑賞教育」の推進について ・養成講座修了式 | 【アドバイザー】 () 他未定 | 市民ギャラリー 第1展示室 |
| 全6日 29時間30分 座学 8.5時間 実践9時間 実習 10時間 講演 2時間 | | | | |

2 ファシリテーター説明会

- (1)日時 令和6年7月16日(火) 10時～11時30分
(2)場所 市民ギャラリー 第1展示室
(3)内容

| 内容(時間) | 担当 |
|---|-----------------|
| 1 船橋市における対話型鑑賞教育の経緯について | 文化課 |
| 2 養成、採用計画、雇用条件等説明 | ギャラリー |
| 3 ①基礎講座 船橋市民ギャラリーの対話型鑑賞教室について(30分) ・対話型鑑賞教室とファシリテーターの役割について ・船橋市所蔵作品の活用について:船橋アートカード ・アートカード体験会 | 【アドバイザー】 () |
| 4 質疑応答 | |